

## 2 充実した人生を送るための 生涯学習の推進

- 【1】社会教育委員会費
- 【2】家庭教育推進費
- 【3】各種団体育成指導費
- 【4】青雲閣管理運営費
- 【5】成人式開催費
- 【6】音楽鑑賞会開催費
- 【7】音楽教室開催費
- 【8】青少年健全育成事業
- 【9】ディスカバー滑川ふれあい事業
- 【10】男女共同参画推進事業費
- 【11】学校文化施設開放事業
- 【12】社会教育活動総合事業費
- 【13】心豊かなまちづくり推進事業費
- 【14】地区公民館活動推進費
- 【15】地区公民館整備事業
- 【16】青志会館管理運営費
- 【17】働く婦人の家管理運営費
- 【18】図書館運営費
- 【19】子ども図書館管理運営事業
- 【20】本とのふれあい推進事業
- 【21】俳句教室開設費
- 【22】市美術展開催費
- 【23】文化財保存調査費
- 【24】ネプタ流し継承事業費
- 【25】郷土芸能活性化事業費
- 【26】博物館管理費
- 【27】博物館運営費
- 【28】展覧会等開催費
- 【29】子ども科学教室開催費



【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		社会教育委員会費		担当部署		教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	3 生涯学習の推進			項	04	社会教育費
	010103				目	01	社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	社会教育委員
---------	--------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市教育委員会の諮問により、社会教育委員会を開催し、委嘱した社会教育委員から諸計画について意見をいただき、事業実施の指針とする。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)				
指標名	単位	29年度	30年度	R元年度
社会教育委員会の実施回数	目標	3	3	3
	実績	3	3	3
	達成率	100%	100%	100%
	目標			
	実績			
	達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
年3回(5月、10月、2月)の社会教育委員会により、生涯学習課とスポーツ課の事業説明や事業報告を行い、社会教育委員からの質問や意見等を事業の参考とする。事業数や協議事項から年3回の開催が妥当と考える。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	200	193	237
計	200	193	237

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	滑川市の社会教育の推進のため、有識者の意見を伺うことは必要である。
活動内容の有効性	一週間前に資料を郵送し、意見や質問を持ち寄って参加していただくなど、今後も一回一回の委員会を充実させる手立てが必要である。
執行方法の効率性	社会教育法及び市条例により規定されており、年3回の委員会開催は効率性が高い。
公平性	家庭教育、学識経験者、スポーツ分野等、様々な社会教育団体の代表者に任期を1年で委嘱し、偏りはない。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	それぞれの立場から幅広い視点でご意見をいただき、事業を見直したり事業の方向性を見出したりする上で大変役立っている。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	委嘱する委員の個々の事情を加味し、委員会の招集を行う。
------------	-----------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		家庭教育推進費	担当部署	教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	子どもを持つ親
---------	---------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
家庭教育の大切さを伝え、理解してもらうことを目的とした「子育て講座」を小学校に入学する児童の保護者を対象に開催する。また、学習参観日等に講師を派遣し、保護者を対象に「親を学び伝える学習プログラム」を利用したグループワークを取り入れた「親学び講座」を小学校等で開催する。平成24年度から幼稚園・保育園等から希望する園で「親学び講座」を実施し、令和元年度は3園で4回実施。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
子育て講座開催数	回	目標	22	22	22
		実績	23	21	20
		達成率	105%	95%	91%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
県で作成している「親を学び伝える学習プログラム」を利用し、就学時検診の際に実施することにより、高い参加率を見込む。幼稚園・保育園等においても実施する。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	184	180	167
計	184	180	167

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	近年の核家族化、児童虐待問題等で家庭教育の必要性は高まっており、行政が主体となり実施すべき事業である。
活動内容の有効性	講師と団体との事前打合わせは市教委が調整し、担当者も出席する。実践事例や他校の例を紹介するなどして、充実した内容になるよう努めている。
執行方法の効率性	県のパンフレットを利用したり県の映像資料を活用したりするなど最低限のコストで事業を実施している。
公平性	すべての対象者に無料で事業を実施しており、公平である。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	必要性が高い事業である。情報交換を行って、よりよいあり方について検討したことで、各学校の取り組みも多様になってきた。より多くの保護者が気楽に参加できるよう、今後も工夫していく必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	他市町村の取組み例を積極的に幼保小中へ情報提供し、内容の更なる充実を図ったり、参加された保護者の声を周知したりすることで、参加者を増やす。
------------	-----------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		各種団体育成指導費	担当部署		教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算 費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	滑川市連合婦人会・滑川市児童クラブ連合会
---------	----------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
地域のコミュニティの醸成や新たな担い手の育成のため、市内の社会教育団体に助成するもの。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
連合婦人会会員数	人	目標	110	110	110
		実績	101	101	101
		達成率	92%	92%	92%
児童クラブ連合会会員数	人	目標	2000	2000	2000
		実績	1728	1797	1656
		達成率	86%	90%	83%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
地域のコミュニティの醸成や新たな担い手の育成のため、市内の社会教育団体に助成し、活動を支援する。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	320	320	320
計	320	320	320

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	コミュニティの希薄化により、社会教育団体の役割は増しており、助成することは必要である。
活動内容の有効性	連合婦人会の会員数は横ばい、児童クラブ連合会は児童数減少にともない、会員数が減ってきているが、どちらも活動自体は活発である。
執行方法の効率性	どちらも営利目的の団体ではないため、助成により活動をサポートすることは有効であり、必要である。
公平性	どちらも市内全域を対象とした組織であり、公平である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	コミュニティの形成・醸成のため、社会教育団体の活動に助成することは必要である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	両団体と連絡を綿密に取り、情報提供・協力体制を築いていく。 活動内容を広報等で周知する。
------------	-------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		青雲閣管理運営費		担当部署	教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計 01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款 10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進			項 04 社会教育費
	010103				目 05 社会教育施設費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民の青少年の健全育成を図ると共に、市民の生涯学習の一拠点としての機能を充実させる。 また、平成25年度から指定管理者制度の導入により、(一財)滑川市文化・スポーツ振興財団を管理者とし、事業の継承・利用拡大を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
施設利用者数(青雲閣)	人	目標	5,000	5,000	5,000
		実績	5,550	5,265	4,925
		達成率	111%	105%	99%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
小・中学校や企業等の団体向けに宿泊利用の営業活動を行ってもらい、利用率を上げる。 周辺施設を含めた利用方法を提案し、リピーター増を目指す。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	19,455	21,784	21,022
計	15,320	16,255	21,022

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	青少年の健全育成を図ると共に、心豊かに学ぶ生涯学習の場として必要である。
活動内容の有効性	利用者数は、年度により多少増減しているが、目標を達成している。
執行方法の効率性	東福寺野自然公園や不水掛遺跡公園等と併せて利用でき、幅広く活動できる施設となっている。
公平性	幅広い年代の方々が、活動計画を立て、スポーツ及び生涯学習の場として利用している。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	B	滑川市を一望し、東福寺野の大自然を満喫できる施設となっている。指定管理者の運営により、市内の子どもたちをはじめとし県内外の方々が多く利用している。今年度、東福寺自然公園内のふわふわドームが改修され、子どもの利用者が増加した。

改革・改善策

具体的な改革・改善策	平成30年度末に建替えの方針を決定した。多くの方々に利用していただくよう、周辺施設との一体的利用を目指し、新たな施設の建設を検討する。将来的な運営方法が課題となる。
------------	------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		成人式開催費	担当部署	教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元氣	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	新成人
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
新成人ひとりひとりを祝福し、成人となった自覚を促す。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)				
指標名	単位	29年度	30年度	R元年度
参加人数	人	目標	375	361
		実績	305	289
		達成率	81%	80%
		目標		
		実績		
		達成率		

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
新成人による実行委員会を開催し、新成人自身による成人式である旨の自覚を促す。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	628	602	656
計	628	602	656

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	新成人を祝い、社会人としての自覚を促すことは必要である。
活動内容の有効性	毎年1月の3連休の中日に開催し、遠方の方にも参加しやすいよう配慮している。
執行方法の効率性	内容については新成人の実行委員会で話し合い、必要最低限の経費で行われている。
公平性	すべての新成人を対象としており、公平である。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	新成人に自覚を促すため、節目の式典として成人式を行うことは必要であり、実行委員を中心に執り行うことで主体的に参加している。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	実行委員会は、卒業した中学校の元学年主任の先生に連絡をとり、元生徒会執行部や地元在住の新成人を中心に構成。(連絡がとりやすく活動しやすい) 18歳成人年齢引き下げによる成人式の在り方について検討する。
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		音楽鑑賞会開催費	担当部署	教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市内音楽団体・全市民
---------	------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
芸術文化の振興を目的として全市民的に活動を行っている音楽団体の支援を行う。 豊かな心の育成及び表現力、感受性の向上を目指し、親子向けの音楽鑑賞会を開催する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
音楽協会定期演奏会開催	回	目標	1	1	1
		実績	1	1	1
		達成率	100%	100%	100%
吹奏楽団定期演奏会開催	回	目標	1	1	1
		実績	1	1	1
		達成率	100%	100%	100%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
年1回開催される定期演奏会を支援するため、補助金を交付する。 「光のコンサート」特別ゲスト等による親子を対象としたコンサートを実施する。 市内の小・中学校、高校の吹奏楽部員を対象に一流の音楽家によるクリニックを実施し技術の向上を図る。 親子の音楽鑑賞会の来場者を増やす。(H30年度65人、R元年度200人)

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	307	317	288
計	307	317	288

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市の芸術・文化振興のため、音楽団体に助成を行うほか、音楽鑑賞会を開催することは必要である。
活動内容の有効性	市民の間では定着したイベントとなっており、有効である。
執行方法の効率性	助成金については最低限の額であり、効率性は高い。
公平性	市の代表的な音楽団体への助成である。全市民を対象としており、公平である。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	市の芸術・文化の振興のため、必要な事業である。 毎年一流の音楽家を迎え、吹奏楽部の部員向けのクリニックや親子対象の音楽鑑賞会を開催しており、豊かな心を育む観点から重要な事業である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である    B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である    D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	音楽鑑賞会の来場者を増やすため、市広報やHPでのPR、チラシ配布の他、学校吹奏楽部等各種団体への個別PRも行う。
------------	----------------------------------------------------------



【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		音楽教室開催費	担当部署		教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市内小・中学生
---------	---------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
児童生徒が専門家の演奏を聞いたり、指導を受けることにより、演奏技術の向上や豊かな心を育むことを目的として、各小中学校において講師を招き音楽教室を開催する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	令和元年度
音楽教室参加者数	人	目標	900	900	900
		実績	503	470	843
		達成率	56%	52%	94%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
小学校においては、児童を対象とした音楽鑑賞会、実技指導を実施する。中学校においては、吹奏楽部員を対象とした講習会を実施する。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	270	210	220
計	270	210	220

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	音楽を通して子どもの豊かな心を育むため、必要である。
活動内容の有効性	大会で優秀な成績を収めるなど、成果も上がっている。
執行方法の効率性	最低限の講師謝礼のみの予算で実施でき、効率性は高い。
公平性	市内全小中学校で実施しており、公平である。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	児童生徒が音楽を通して豊かな心を育む観点から、重要な事業である。より多くの児童・生徒により音楽に触れる体験を経験させることができている。指導の成果が見られる。

A:計画どおり事業を進めることが適当である    B:事業の進め方などに改善が必要である  
 C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である    D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	音楽教育や演奏技術の向上に資するよう内容や講師の工夫に努める。
------------	---------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		青少年健全育成事業		担当部署		教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	3 生涯学習の推進			項	04	社会教育費
	010103				目	01	社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	児童、生徒、保護者、地域の人
---------	----------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
補導センター、青少年育成滑川市民会議などの団体と連携して青少年の健全育成を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	令和元年度
補導員活動日数(延べ)	日	目標	200	200	200
		実績	205	149	159
		達成率	103%	75%	80%
ボランティア体験作文応募数	作品	目標	100	100	100
		実績	36	130	339
		達成率	36%	130%	339%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
少年補導センターは青少年の非行を直接取り締まるのではなく、抑止力として街頭の巡回を行っている。また、青少年の心の育成の一環として、「ボランティア体験作文」の募集・発表を行っている。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	326	283	270
計	326	283	270

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	青少年の健全育成は市にとって重要な課題であり、必要な事業である。
活動内容の有効性	青少年の健全育成は市にとって重要な課題であり、有効な事業である。
執行方法の効率性	最低限の費用で活動を行っており、費用対効果の面では問題はない。
公平性	市内全域を対象とした巡回活動をしており、公平である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	青少年育成の観点から、幅広く活動を行っている。巡回補導の参加率を上げることが必要。ボランティア作文の応募に関しては、冬休みの宿題にして協力している学校があり、今後も広げていきたい。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	参加しやすいよう活動時間帯や連絡方法を工夫する。
------------	--------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		ディスカバー滑川ふれあい事業	担当部署		教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	小・中学生
---------	-------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
ふるさと滑川を普段とは異なった視点で見つめることにより、郷土愛の涵養や、主体的に判断し行動する能力を身につけてもらうことを目的とする。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
ふるさと探検事業の参加者数	人	目標	100	100	100
		実績	91	102	100
		達成率	91%	102%	100%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①ふるさと探検事業では、普段とは異なった視点で滑川市を見つめることにより、滑川市を“再発見”してもらえような事業を開催する。
②学校ボランティア事業では、各種ボランティアを体験することで、地元の方々との交流や相手を思いやる心を育むことを目指す。
③子どもサミット事業においては、日頃のボランティアの成果の発表や、数年後の本市の在り方や改善点等を話し合うことにより、滑川市をより良くするための主体的な観点を養う。
④郷土偉人の業績を学び郷土愛を育む。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	令和元年度
直接事業費	797	754	790
計	797	754	790

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	ふるさと滑川を愛する心を涵養するために必要である。
活動内容の有効性	事業の目的は達成できているが、より効果の高い内容になるよう改善すべき点がある。
執行方法の効率性	市主催で学校、関係機関の協力を得て行っている。
公平性	市内小中学生すべてを対象としているが、一部の行事は小学生のみとなっている。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	ジオパーク体験ツアーのクルージング体験で滑川市を海から眺めることは、郷土を知るため大切なことであるので、今後も継続していきたい。全体の参加者数は目標を達成しているが、申込が少ないイベントについては、周知方法や内容等の検討が必要である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	小学生と中学生の両方が参加できる事業を増やす。周知する方法を工夫する。
------------	-------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		男女共同参画推進事業費	担当部署		教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
滑川市男女共同参画計画に基づき、「ともに認め合い、支え合う、ひかり輝く社会の実現」を総合目標とし、男女共同参画推進事業を実施する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
公開講座参加者数	人	目標	120	120	120
		実績	280	200	70
		達成率	233%	167%	58%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めるため、男女共同参画推進員による啓発活動を実施する。
②男女共同参画に関する意識啓発と計画の周知のため、男女共同参画公開講座を実施する。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	1,206	927	735
計	1,206	927	735

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	男女共同参画の推進は、行政が主導して実施すべきである。
活動内容の有効性	社会情勢の変化等に対応し、活動内容を検討していく必要がある。
執行方法の効率性	推進委員会へ委託しており、効率性は高い。
公平性	市民すべてを対象とした事業であり、公平である。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	B	社会情勢に対応した事業となるよう、推進員の研修、活動内容の工夫・検討が必要である。平成31年3月に策定した「滑川市男女共同参画計画～第3次ときめきかがやきひかりのプラン～」に基づき事業を継続していく。公開講座は、講師選定が重要であり、幅広く情報収集を行う必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	活動内容については固定化しているので、各地区推進委員会の意見交換の機会を作ったり、取り組み例などの情報提供、提案、相談などのサポートが必要である。
------------	---------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		学校文化施設開放事業		担当部署		教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	3 生涯学習の推進			項	04	社会教育費
	010103				目	01	社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民の生涯学習活動の支援を行うため、生涯学習センター・地域交流センターの開放を行う。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	令和元年度
生涯学習センター利用者数(滑川中学校内)	人	目標	3000	3000	3000
		実績	2946	2519	1809
		達成率	98%	84%	60%
地域交流センター利用者数(早月中学校内)	人	目標	2000	2000	2000
		実績	2687	1920	2018
		達成率	134%	96%	101%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
学校の使用していない夜間、休日を開放するため、シルバー人材センターの開放員に管理を委託している。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	355	312	416
計	355	312	416

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	生涯学習の振興のため、施設の有効活用はニーズに合っており、必要性も高い。
活動内容の有効性	利用が無料であり利用希望者は多いが、学校の利用が優先であるため、これ以上の時間の延長は難しい。
執行方法の効率性	事業費は開放員への委託料だけであり、最小限のコストに抑えられている。
公平性	生涯学習のための施設であり、誰でも気軽に使用することができる。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	生涯学習センター、地域交流センターの空き時間を有効活用しており、市民のニーズにも応えている。 今年度新たな音楽団体が利用を開始した。

A:計画どおり事業を進めることが適当である    B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である    D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	生涯学習のための施設という趣旨を明確にして利用促進を図っていく。
------------	----------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		社会教育活動総合事業費	担当部署	教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひどが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	02 公民館費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
生涯学習センターを市民の生涯学習活性化のための中核として機能させ、更なる地域活性化の促進と生涯学習の振興を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元
ふるさと市民大学講座受講者数	人	目標	200	200	200
		実績	163	204	166
		達成率	82%	102%	83%
福寿大学受講者数	人	目標	130	130	130
		実績	131	127	121
		達成率	101%	98%	93%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
① 各分野で活躍中の郷土ゆかりの講師を招き、市民が最新情報にふれることができ、郷土愛を育むことができる講座を開催する。 ② 60歳以上の方々がふれあいを通し、自らの生活の中に生きがいを見いだせる教養講座やレクリエーション教室、野外活動教室等を開催する。 ③ 一般市民向けに書道、油絵、陶芸、詩吟の4つの実技講座を開催する。 ④ 生涯学習センターで一般市民向けの各種の教養講座を開催する。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	1,643	1,281	1,164
計	1,643	1,281	1,164

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	どの事業も生涯学習の充実のために必要である。
活動内容の有効性	各世代に対応した各種講演会や講座を、いつでも、どこでも、誰もが自ら気軽に学べるように開催したり、情報紙を定期的に発行したりしており、有効である。
執行方法の効率性	最低限の講師謝礼と印刷費等の予算であり、効率性は高い。
公平性	内容に応じて特定の年齢や広く市民を対象としている。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	参加者の声を聞くと、概ね事業の目標は達成できていると考えられる。福寿大学については、男性参加者を増やしていくことが課題である。3月の講座や開校式は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止になった。ふるさと市民大学は内容の程度など参加者増加の工夫が必要である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業終了後、アンケートを実施するなど、参加者の意見を参考に事業の見直しを行う。また、PRの仕方も工夫していく。講師について、情報集めを積極的に行う。
------------	----------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		心豊かなまちづくり推進事業費	担当部署		教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算 費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	02 公民館費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
<p>①地域の絆や教育力の向上を図ることを目的として、地域の人材を活かした多世代のふれあい活動及び各種教養教室を各地区公民館において実施する。</p> <p>②ふるさと滑川の自然・歴史・文化に対する理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育むことを目的に、「ふるさと講座」を実施する。また、様々な年代を対象とすることにより世代間交流を推進する。</p>

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
公民館利用者数	人	目標	80,000	80,000	80,000
		実績	99,695	86,911	83,587
		達成率	125%	109%	104%
「ふるさと講座」参加者数	人	目標	1,000	1,000	1,000
		実績	1,717	1,627	1,915
		達成率	172%	163%	192%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
<p>①地区公民館において、多世代のふれあい活動及び各種教養教室を実施する。</p> <p>②各地区公民館において、地元の自然、文化、歴史を学ぶ「ふるさと講座」を実施する。</p>

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	1,350	1,350	1,350
計	1,350	1,350	1,350

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	地域の絆づくり、地域コミュニティの形成、ふるさと教育は近年、特に重要視されており、必要な事業である。
活動内容の有効性	参加者のニーズを汲み取りながら、事業を実施しており、有効である。
執行方法の効率性	地区公民館へ委託しており、効率性は高い。
公平性	全地区住民を対象としており、公平である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	地域の絆づくり、地域コミュニティの活性化、ふるさとへの誇りと愛着を育むため、必要な事業である。各地区公民館では、ネプタ流し、セタ、オショライなどの地元の伝統文化を学ぶふるさと教育や、地域の人材を活用した三世代餅つき体験、農業体験、盆踊りなどの活動を積極的にを行い、また、近年は富山湾岸クルージング乗船体験を実施するなど、ふるさと滑川に対する知識や理解を深めている。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	参加者が固定し、応募が少ない事業や教室については、アンケートを実施し、地域のニーズを踏まえた活動を再検討する。
------------	---------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		地区公民館活動推進費	担当部署		教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	02 公民館費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
地区公民館を中心とした地域コミュニティの形成を推進するため、多世代のふれあい活動、各種講座等の地域における公民館活動を支援する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
地区公民館利用者数	人	目標	80,000	80,000	80,000
		実績	99,695	86,911	83,587
		達成率	125%	109%	104%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①地区公民館において、公民館まつり、住民運動会、各種レクリエーション、講座等の実施
②地区公民館の管理にかかる費用の支出
③地区公民館実施事業参加者及び公民館職員に対する保険の加入

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	10,893	10,716	10,906
計	10,893	10,716	10,906

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	地区公民館と中心としたコミュニティの形成は近年重要視されており、必要である。
活動内容の有効性	参加者のニーズに応じた内容となるよう心掛けており、有効である。
執行方法の効率性	コミュニティづくり推進事業及び保険加入については地区公民館へ委託しており、効率性は高い。
公平性	全地区住民を対象としており、公平である。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	地域コミュニティの推進、活性化のため必要な事業である。 新型コロナウイルスの影響により、公民館行事の多くが中止となっている。人と人との物理的な距離が求められる状況においては、人が集う行事の開催は難しいが、地域コミュニティの中核としての地区公民館の事業を支援したい。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	新型コロナウイルス感染症予防対策を適切に実施し、地区におけるコミュニティの場としての公民館機能を維持する必要がある。
------------	------------------------------------------------------------



【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		地区公民館整備事業費	担当部署		教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	02 公民館費

事業の対象

誰・何に対して	各地区公民館
---------	--------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
地区公民館の整備に努め、快適に利用して頂けるよう、整備・修繕を行う。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
要望件数(目標)に対し実施した件数(実績)	件	目標	40	40	40
		実績	21	24	23
		達成率	53%	60%	58%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
公民館より要望を聞きとり、順次修繕を行う。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	5,261	1,960	1,430
計	5,261	1,960	1,430

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	地区公民館を安全・正常に利用して頂くために必要である
活動内容の有効性	施設が老朽化しているなかで、施設を維持管理するためには、非常に有効である
執行方法の効率性	国、県の補助事業を活用するなどして、コスト削減をすることは可能である
公平性	施設を利用するすべての方に受益がある

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	<b>B</b>	各地区公民館の老朽化をふまえ、限られた予算の中で緊急性の高いものから修繕を行うことや、年次計画を立て古くなった設備を更新できるような確かな予算要求を行い、安全な施設維持管理に努めるべきである。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	利用者に安全に施設を使用してもらえよう、施設点検や管理を適切に行う必要がある。安全にかかわる修繕を優先し実施する。浜加積地区福祉センターにかえてホールの建設が計画されており、地区公民館と一体となった活用についても検討が必要となる。
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		青志会館管理運営費	担当部署	教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	4 青少年健全育成の推進		項	04 社会教育費
	010104			目	05 社会教育施設費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
青志会館は、市民が仕事の後や余暇を利用して趣味や娯楽を楽しんだり、必要な知識や技術を学ぶための施設であり、また学童保育の実施場所となっている。たくさんの方々に利用していただけるよう施設の整備や活動の支援を行う。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
利用者数	人	目標	18,000	18,000	18,000
		実績	15,869	11,284	9,585
		達成率	88%	63%	53%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
従来からの抹茶、生け花、着付け、空手等各種教室、サークルの運営は継続し、新規の教室・サークルの募集を随時行っていく。イベントでの調理室、和室等の利用も周知する。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	4,581	4,642	4,758
整備費		2,996	
計	4,581	7,638	4,758

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	仕事の後や余暇を利用して趣味や娯楽を楽しんだり、必要な知識や技術を学ぶことができる施設のため必要である。
活動内容の有効性	館内は、会議室、和室、調理室、多目的ホールがあり、幅広い活動ができる。
執行方法の効率性	学童保育も実施されていることもあり、地域の社会教育施設として生涯にわたる利用が期待できる。
公平性	大人から子どもまで、幅広い層の方々が利用できる施設となっている。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	幅広い層に利用される施設である。学童保育も実施されていることから、安全に利用してもらうよう施設の点検、維持管理に努める必要がある。教養講座の受講生が増加するよう体験会の開催を支援するなどPRを工夫する。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	多くの利用があるので、施設の定期的な点検管理が必要である。安全にかかわる修繕は、優先的に実施する。
------------	---------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		働く婦人の家管理運営費	担当部署		教育委員会 生涯学習課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	05 社会教育施設費

事業の対象

誰・何に対して	働く女性及び勤労者家庭等の主婦
---------	-----------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
必要な知識・技能の取得や教養・憩い・レクリエーション等について場と機会を提供し、生活の向上や福祉の増進を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R元年度
働く婦人の家利用者数	人	目標	15,000	15,000	15,000
		実績	12,143	11,450	11,241
		達成率	81%	76%	75%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
フォークダンス、コーラス、手芸等の各種講座を開催する。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R元年度
直接事業費	6,475	6,656	6,651
計	6,475	6,656	6,651

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	毎年様々な教室を開催し、利用者も依然多く、必要性は高い。
活動内容の有効性	受講者のニーズに応じた講座内容となるよう心掛けており、有効である。
執行方法の効率性	利用者が多く、他の施設との統合は不可能である。
公平性	男性の利用が可能な講座もある。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	年間1万人以上の利用があり、教養教室の受講生も多く、生涯学習の推進のために、必要な事業である。学び続けたい意欲のある方の育成・自主グループの活動も熱心に行われ、活動の場としての施設利用も盛んに行われている。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	受講生の固定化が見られる教室もあるので、新規の受講に結びつくよう作品発表の場や広報等工夫する。会費の妥当性について検討する。新しい講座を開催するため、幅広い情報収集が必要である。
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		図書館運営費	担当部署	教育委員会 生涯学習課(図書館)	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	03 図書館費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
より利用しやすく親しみやすい図書館を目指し、利用者(来館者)の増加を図るとともに市民の生涯学習を推進する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	R1年度
市民1人当たりの貸出冊数(年間)	冊/人	目標	6	6	6
		実績	4.84	4.97	4.91
		達成率	81%	83%	82%
来館者数	人	目標	150,000	150,000	150,000
		実績	137,194	132,389	120,375
		達成率	91%	88%	80%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
青少年向け図書のコーナーについて周知するなどして、図書館利用者(来館者)の増加を図る。 蔵書の増強や郷土資料の積極的な収集・公開を進めるほか、レファレンスサービスの認知度を高め、利便性の向上に努める。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	R1年度
直接事業費	16,788	16,925	16,892
計	16,788	16,925	16,892

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	図書館は社会教育機関という法的位置づけがされており、市民の生涯学習や情報収集の場として必要である。
活動内容の有効性	市民の生涯学習を支援するために有効である。
執行方法の効率性	ボランティアの活用など、コスト削減を図りながら各種サービスを提供している。
公平性	誰でも無料で利用することができ、公平である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	生涯学習の推進のために必要不可欠な事業である。 令和元年度からは、新たに2階に本の特集コーナーを設置し、また中学生・高校生の作品を1階・4階に展示して学校との連携を強化するなど、利用増に向けた取り組みを行っているところである。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	青少年向け図書の充実、中高生の作品展示などにより、青少年層の利用者の増加を目指す。また、作品展示の場として、3階展示室を使いやすいようにして活用するなど、今後も利用者(来館者)の要望に応え、生涯学習の拠点として各種資料や情報を提供する。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		子ども図書館管理運営事業		担当部署		教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	3 生涯学習の推進			項	04	社会教育費
	010103				目	03	図書館費

事業の対象

誰・何に対して	子どもとその保護者
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
子ども一人ひとりの個性を伸ばし感性を磨くとともに、生きる力や創造力を高めるため、学校と連携し子どもの読書活動を推進する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名		単位	29年度	30年度	元年度
市民1人当たりの貸出冊数(年間)	冊/人	目標	6	6	6
		実績	4.84	4.97	4.91
		達成率	81%	83%	82%
来館者数	人	目標	30,000	30,000	30,000
		実績	36,166	35,345	34,565
		達成率	121%	118%	115%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
子ども読書活動推進計画(H30~H34)を策定する。文科省事業(学校司書能力向上等調査研究事業)に取り組み朝読用図書の出借をする。小学校の授業で使用する図書を充実し、貸出する。中高生向けの図書だよりを発行し利用促進につなげる。本と親しむきっかけとなるよう、おはなし会や各種ワークショップ、おたのしみ会などを開催する。

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	7,503	7,315	7,742
計	7,503	7,315	7,742

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	子どもの読書活動の推進のために必要な事業である。
活動内容の有効性	子育て支援の面からも有効である。
執行方法の効率性	ボランティアを活用するなど最低限の額で運営しており、効率性は高い。
公平性	市内すべての子どもと保護者を対象としており、公平である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	文科省委託事業実施や子ども読書活動推進計画策定により、市内小学校(7校)へ朝読用図書の貸出を実施している。また、授業に必要な図書を購入し、貸出を行っている。今後も子どもが読書を通じて、豊かな感受性や探究心を育むために必要な事業である。さらなる読書活動の推進のためには、学校図書館との連携が必要不可欠であるため、事業内容を適時見直す必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	児童館、子育て支援センター、学校(司書教諭・学校司書)等と連携をとりながら、事業を展開する。
------------	------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		本とのふれあい推進事業	担当部署	教育委員会 生涯学習課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	3 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	010103			目	03 図書館費

事業の対象

誰・何に対して	子どもとその保護者
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
「子ども図書館」を子どもと親が集い交流する場とし、本を通じた子育て支援事業を実施することで、安心して子どもを産み育てられ、また子どもが心身ともに健全に育つ環境づくりを推進する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	元年度
ふれあいあそび実施回数	回	目標	50	50	47
		実績	50	50	47
		達成率	100%	100%	100%
子育て支援講座参加者数	人	目標	250	250	250
		実績	371	366	431
		達成率	148%	146%	172%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①おはなし会などを継続的に実施して、親子が気軽に集える場をつくる。 ②ブックスタート事業として、市内のすべての赤ちゃんに絵本をプレゼント。 ③子ども図書館において3B体操教室や親子ピクス教室などの子育て支援講座を実施する。 ④子育て相談に応じると共に、成長段階に合った絵本選びについての相談にも対応する。 ⑤子ども図書館職員が出向き、市内小学校で出張お話し会を実施し、学童保育で出前講座(工作・絵本の読み聞かせ)を実施した。(出張おはなし会6回・出前講座6回)

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	589	1,917	685
計	589	1,917	685

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	子どもの健全な育成のために必要な事業である。
活動内容の有効性	市内の子育て関連施設等で類似の子育て支援事業を実施しているが、市民のニーズは高い。
執行方法の効率性	保育士(職員)が講師になるなど、最低限の額で実施しており、効率性は高い。
公平性	市内すべての子どもと保護者を対象としており、公平である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	子ども図書館職員が出張おはなし会や出前講座を実施することで、子どもが健やかに育つ環境づくりや、本を通じた子育て支援のために必要な事業である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	児童館、子育て支援センター等と連携をとりながら、事業を展開するとともに、子育て支援について、利用者のニーズを汲みながら、検討・改善していく。日頃から、来館者に声掛けを行うなど、コミュニケーションを図り、またイベントについても口頭で呼びかけを行っていく。 また、イベントだけでなく、今後も保育園等や小学校、学童保育で出張お話し会や出前講座を実施することで、子ども図書館の利用促進を図り、将来を担う子ども達への読書活動を推進する。
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		俳句教室開設費	担当部署	博物館
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計 01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興		項 04 社会教育費
	010106			目 01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	小・中学生及び一般市民
---------	-------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
俳句文芸の継承と振興を図り、香り高い文化のまちづくりを目指す。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	元年度
俳句教室参加者数	人	目標	30	30	30
		実績	40	42	46
		達成率	133%	140%	153%
俳句ポスト投句数	句	目標	5,000	5,000	5,000
		実績	6,931	8,266	7,480
		達成率	139%	165%	150%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①俳句大会の開催 俳句の公募 講演会の開催
②小・中学生俳句教室の開催
③俳句ポストの設置 優秀句作者の表彰

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	92	82	79
計	92	82	79

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市が主体となり、地域文化を継承・振興していくことが必要である。
活動内容の有効性	事業や活動の内容については適切であるが、より幅広い活動を展開することも可能と思われる。
執行方法の効率性	事務改善によって従事時間の縮減を図ることは可能であると思われる。
公平性	多少の偏りはあるが俳句分野の特性から見れば、適切であると思われる。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	俳句文芸の継承・振興のため、今後も継続して事業を実施していくことが、「香り高い文化のまちづくり」につながると考えられる。特に「俳句ポスト」に7,000句以上の投句があり、として毎月広報に掲載していることは県内でもない取り組みなので今後も継続していきたい。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	俳句人口の拡大のため、次世代が参加できる事業の見直しを行い、効率的な事業展開を図る。8月に開催している俳句教室の参加者は年々減ってきており、従来の周知方法等を見直し、新たな児童・生徒への呼びかけの必要もある。俳句大会についても新たな参加者への呼びかけが必要である。
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		市美術展開催費	担当部署	博物館	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	010106			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民が美術文化に親しみ、心豊かに過ごせるよう、文化の普及と美術の振興を図り、香り高い文化のまちづくりを目指す。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	元年度
入場者数	人	目標	800	800	800
		実績	721	786	597
		達成率	90%	98%	75%
出品者数	人	目標	150	150	150
		実績	128	155	142
		達成率	85%	103%	95%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
「滑川市美術展」の開催 市美術展運営委員会の開催 市美術展審査会の開催 市美術展開会式、表彰式の開催 市展講評会の開催

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	581	584	578
計	581	584	578

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市民の情操を豊かに育てるとともに、優秀作家を育成し、本市文化の向上を図ることは、市が主体となって継続的に行う必要がある。
活動内容の有効性	事業や活動の内容については適切であるが、部門によっては出品者の減少・高齢化が見られ、新たな人材の育成等、検討すべき点がある。
執行方法の効率性	事務改善によって従事時間の縮減を図ることは可能であると考ええる。
公平性	芸術・文化面の市民への成果還元は課題である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	「香り高い文化のまちづくり」を標榜する本市にとって、芸術活動を行う人材の育成、市民が芸術に触れる機会を継続的に提供することは、本市の文化力の向上にもつながると考えられる。そのため、市民芸術の創作発表・鑑賞の場を提供することは大切である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	優秀作家の育成を図ると同時に、出品数が少ない部門については統合等の検討も必要である。また、出品者数の減少に対し、新たな層への働きかけを行う。市展開催の協力組織でもある市美術協会との連携・協力強化を図る。
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------



【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		文化財保存調査費	担当部署	博物館
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計 01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興		項 04 社会教育費
	010106			目 01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民共有の財産である文化財を永く保存、継承していくとともに、新たな文化財を掘り起し、市民に周知積極的に活用していく。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位	29年度	30年度	元年度	
指定文化財等件数	件	目標	43	43	43
		実績	45	52	52
		達成率	105%	121%	121%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①市有文化財の保存・管理 史跡・天然記念物
②市民への文化財の啓発及び活用
③開発に伴う埋蔵文化財の調査
④古建築調査や山岳遺跡調査による文化財の掘り起し
⑤立山・黒部ジオパークの周知

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	1,030	1,178	1,240
計	1,030	1,178	1,240

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	文化財は市民共有の財産であり、永く保存していくために市が主体的に関わる必要がある。また新たな文化財の発見や既存の文化財の周知活動などを要する。
活動内容の有効性	文化財の保存管理や活用に向けた取り組みを行っている。また新たな文化財の掘り起しも進めており、発見された文化財の価値を広報普及し市民の文化財保護意識を高めていく必要がある。
執行方法の効率性	現状把握している文化財については適切に執行している。しかし未発見の文化財については多岐にわたると考えられることから、今後このような文化財の効率的な調査・保存が求められる。
公平性	公平であり、適切と思われる。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	文化財は地域にとって貴重な共有財産であり、歴史や文化を現代に伝える有用性もある。そのため公共的な視点から保存・管理および活用していくことが必要である。また開発に伴い、取り壊しや廃棄される未指定の文化財も想定し、その把握と効率的な保存周知については喫緊の課題と言える。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	市内文化財の調査・研究を通して、重要性の高い文化財を明らかにし、保存措置を講ずる。また分布調査を行うことで、その他の文化財の所在及び現状の把握に努める。調査成果は展示等を通して市民に周知することで、その価値と魅力を伝えていく。
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		ネブタ流し継承事業費		担当部署		博物館	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興			項	04	社会教育費
	010106				目	01	社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民、ネブタ流し保存会及び後継者(小学生)
---------	------------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
国指定重要無形民俗文化財の保存継承のために、市民と行政が一体となって方策を講じ、推進していく。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	元年度
研修会合出席者数	人	目標	35	35	35
		実績	25	20	20
		達成率	71%	57%	57%
寺家小学校児童参加者数	人	目標	16	16	16
		実績	21	36	48
		達成率	131%	225%	300%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①保存継承団体の組織強化 ・主体的活動の運営支援と補助金の交付 ・ネブタ流し参加団体への新規参加促進
②後継者育成 ・寺家小学校での製作伝習活動及び学習会の開催支援
③団体間の交流 ・研修会の開催(情報交換会の実施)
④ネブタ流し材料の確保と備蓄 ・ワラの確保と保存

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	287	284	289
計	287	284	289

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	国指定重要無形民俗文化財であるネブタ流しを後世へ守り伝えるため、事業の中心となる保存会を支援する必要がある。
活動内容の有効性	地域の民俗行事として、近年では活動規模の拡大が評価され、各方面から表彰を受けている。
執行方法の効率性	現状では保存会組織を運営するにあたり、事務局は行政が担っている。そのため漸進的な自主化への動きが求められる。
公平性	参加団体が増加しているため、保存会の中から、補助金の分配方法について検討すべきとの声も一部ある。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	国指定重要無形民俗文化財として価値は高く、地域の民俗行事という範疇にとどまらず観光客の数も増加している。今後も保存継承していくために、保存会への支援および伝承活動は必要である。なおワラ材の確保が当面の課題であるが、保存会との相談の上、安定的な資材確保へ向けて取り組んでいく。

A:計画どおり事業を進めることが適当である    B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である    D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	参加団体増加に向けて、地域の公民館や各種団体へ参加を働きかけていくことが、長期的にみた保存会の体制強化や保存継承につながるものと思われる。
------------	-----------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		郷土芸能活性化事業費	担当部署	博物館
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり	款	10 教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興	項	04 社会教育費
	010106		目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民、保存団体及び後継者(小学生)
---------	--------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
地域に伝承される郷土芸能育成保存の姿勢から、関係団体と連携を図り、行政が一体となり、保存伝承の方策を講じる。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位	29年度	30年度	元年度	
舞踊の伝習会	回	目標	9	9	9
		実績	9	9	9
		達成率	100%	100%	100%
発表会の実施	回	目標	8	8	8
		実績	12	10	11
		達成率	113%	150%	138%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①保存継承団体の運営支援 補助金の交付
②後継者育成 小学生対象の伝習活動の実施
③発表会の実施支援

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	685	666	724
計	838	685	724

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	郷土芸能の保存に際しては継続することに意義があることから必要性は高い。
活動内容の有効性	保存伝承のためにも、多くの市民に認知してもらう方策を検討すべきと考えている。
執行方法の効率性	郷土芸能の伝承方法として小学生への指導は効率的である。
公平性	各保存会会員の自己負担に依存しない運営を検討すべきと考える。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	地域に根ざす郷土芸能の保存・活性化は、市の責務であり、絶えることなく次世代に継承するため、積極的に支援していくべきである。新川古代神保存会が毎年参加している富山県民謡民舞大会が滑川市で開催され、県内文化ホールと共同で県内を代表する民謡を紹介する「ふるさと富山推進事業」も開催されたことにより、県内の民謡民舞とともに新川古代神を市民へ伝えることができた。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	今後は、踊りだけではなく、三味線や唄の伝承の方法も模索していく。
------------	----------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		博物館管理費	担当部署	博物館	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	010106			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民、博物館施設
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民が安全かつ快適に博物館施設を利用できるようにする。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	元年度
利用者数(常設展、 展覧会入場者、教育 普及活動参加者)	人	目標	17,100	17,200	17,300
		実績	15,462	14,941	14,152
		達成率	90%	87%	82%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①施設の維持 電気・水道・燃料等 設備の保守点検等
②不具合箇所の修繕

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	10,752	11,092	12,601
計	10,752	11,092	12,601

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の 必要性	本市の芸術文化活動を振興していく上で拠点となる施設であり、その維持管理業務は不可欠である。
活動内容の 有効性	交通手段が限られていることから事業の必要等を更に広める必要がある。
執行方法の 効率性	博物館の維持管理にあたり、現在委託可能な業務はすべて業務委託を行って効率化を図っている。
公平性	公平であり、適切であると思われる。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価 と所見	B	現状では、施設面の改装も必要であるが、建物の経過年数が25年以上経過していることから、建物内の設備に大幅な改修が必要になってきている。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な 改革・改善策	今後施設の老朽化に伴い、不具合箇所が多く出てきており、第1常設展示室を含め、大規模改修が必要となってくる。令和2年度は企画展示室・常設展示室などの一部の空調機器の更新を行う予定である。
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		博物館運営費	担当部署		博物館
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	010106			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民の芸術・文化活動の成果を発表する機会の提供及び博物館の展示活動以外の事業(研究調査・普及・広報等)を行う。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	元年度
入場者数(常設展、共催展)	人	目標	5,000	7,500	7,500
		実績	8,230	6,246	6,049
		達成率	165%	83%	81%
博物館だよりの発行	部	目標	400	400	400
		実績	400	400	400
		達成率	100%	100%	100%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①各種共催展等の開催 ②博物館活動の広報 博物館だよりの発行 博物館HPの運営 SNSによる発信 ③博物館資料の受入 寄贈及び購入 ④夕焼けコンサートの開催 ⑤ミュージアムカフェの運営

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	1,090	1,154	2,667
計	1,090	1,154	2,667

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市民の芸術・文化活動の成果を発表する場としてニーズがある。また、地域文化に対する博物館の調査研究活動は継続的に行う必要がある。
活動内容の有効性	各連盟展等の入場者数はある程度確保できているが、幅広い市民の来場を促す必要がある。
執行方法の効率性	現状では、ある程度効率的な運営ができていると考えられる。
公平性	博物館活動への興味関心が薄い市民や児童・生徒に対する成果還元近年努めている。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	博物館活動は地域文化のアイデンティティを担保するためのものであり、継続的な事業展開が不可欠である。美術関係各連盟展は会員の減少によって出品数が減り、規模が縮小しているものも出てきている。共催展の入場者数も減少傾向にあるため、HPだけではなく、SNSも活用した広報活動で積極的に発信が必要である。また6月からミュージアムカフェの運営も始め、展覧会鑑賞後等に、眺めの良い景色を見ながら、くつろげる空間を提供している。博物館からの展望の充実が求められている。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	市民ニーズを的確に汲み取りながら、SNS等を利用した広報活動を通じて、これまでとは異なる層の取り込みも考えていく必要がある。ミュージアムカフェについては、博物館にカフェが常設されていることの周知を図り、来館者のカフェ利用率を向上させていくことで、利用者数の増加を目指す。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		展覧会等開催費	担当部署	博物館	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	010106			目	01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民の郷土や芸術・文化活動に対する関心と理解を深めるため、郷土資料や優れた芸術・文化に触れる機会を設ける。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		29年度	30年度	元年度
企画展入場者数	人	目標	7,200	7,200	8,000
		実績	4,330	5,183	4,586
		達成率	60%	72%	57%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①「新収蔵品展」の開催 ②「収蔵遺墨展～郷土なめりかわの先賢を中心に～」の開催 ③「なめりかわ ～災害の記憶～」の開催 図録発行及びシンポジウム、展示解説会、現地見学会等の開催 ④「滑川の縄文展」の開催 パンフレット発行及び展示解説、イベントの開催 ⑤「滑川のたから～滑川市立博物館40年の収蔵資料の中から～」

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	5,293	4,433	3,643
計	5,293	4,433	3,643

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市が主体となって、継続的に優れた芸術作品や地域文化を紹介していくことが必要である。
活動内容の有効性	事業や活動の内容については適切であり、順調に推移しているが、複数年にわたる展示計画や広報方法に課題を残している。
執行方法の効率性	予算執行において、弾力的な枠内対応とすることにより、効率的な事業遂行が可能と思われる。
公平性	公平であり、適切であると思われる。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	市民ニーズを汲み取り、多くの市民に芸術・地域文化に触れる機会を提供していく必要がある。一方で、新たな地域文化の掘り起し等、調査・研究機能の向上も欠くことはできないと思われる。令和元年度は、「昭和44年8月豪雨」から50年という節目の年であったことから、災害をテーマにした「なめりかわ～災害の記憶～」を開催したが、全国各地で大規模災害が頻発している昨今の社会情勢から、時宜を得た企画だったと評価できる。郷土の歴史展示のさらなる充実が求められる。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	複数年にわたる事業計画を立案し、調査・準備期間を確保できるような措置を講じるとともに、調査研究レベルを保つために学芸員のスキルアップも求められる。調査研究内容の発表の場でもあるが、入館者数が伸び悩みの状況にあるため、効果的な広報・周知の在り方を検討する必要があり、令和元年度から始めたSNS等を効果的に使う必要がある。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		子ども科学教室開催費	担当部署	博物館
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計 01 一般会計
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
	小分類	6 芸術・文化の振興		項 04 社会教育費
	010106			目 01 社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	小・中学生
---------	-------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
子どもの科学する心を育むため、自然観察やモノづくりを体験する機会を設ける。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位	29年度	30年度	元年度	
教室参加者数	人	目標	250	250	250
		実績	252	253	254
		達成率	101%	101%	102%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①自然観察教室の開催 植物探検、川であそぼう、化石教室の開催
②天文教室の開催 天文教室、ペルセウス座流星群観察会の開催
③ロボットセミナーの開催(補助)

(単位:千円)

決算額			
	29年度	30年度	元年度
直接事業費	307	328	230
計	307	328	230

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	本市が推進する科学・理数・ものづくり教育を実施するあたり、学校教育以外の学習の機会を提供し、バランスの良い人格形成を目指す必要がある。
活動内容の有効性	活動の内容については、概ね参加者の意向を汲み取っていると思われるが、アンケートを通じてさらなる改善が望まれる。
執行方法の効率性	現状では、おおよそ効率的な運営ができていると思われる。
公平性	公平であり、適切であると思われる。

総合評価

評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	<b>B</b> 「科学の時間」を設けている本市において、科学・理数・ものづくり教育の実地体験の機会が貴重である。また各教室終了後には参加者にアンケートをとるなどして、事業の見直しや内容の改善に努めている。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である  
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	内容の拡充や見直しを図りながら、何度でも参加したくなるような仕掛けづくりが必要である。実施場所の変更や学習内容に変化を持たせることで、参加者数の増加を目指していく。参加者の層を広げるための効果的な周知の方法には検討を要する。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

